

海を照らす灯台のなかまたち (18)

～三瓶二及碁石消波堤灯台～

(みかめにぎゅうごいししょうはていとうだい)

宇和海を八幡浜から西予市三瓶町へ来ました。



三瓶は、北は八幡浜市、東を宇和町、南は明浜町に接し、西には

宇和海が広がっており、深く切れ込んだ三瓶湾は波静かな良港。

昔々、嵐の翌日、磯辺に三つの瓶が打ち上げられた。

そこに棲む「ホウジョウ（ウミニナ、蜷（にな）貝）」が、その瓶を陸地まで押し上げた。

これは神からの贈り物に違いないと考えた里人は、その瓶を新宝として奉ったという。

この言い伝えに基づいて「三瓶」と名付けられたのが地名の由来となった。

縄文式の石皿や、弥生式土器などが出土していることから、この時代には既に人が住んでいたものとみられる。

明治、大正、昭和の合併を経て新三瓶町となり、更に平成の大合併

では、郡の属する「西宇和郡」と八幡浜市との合併ではなく、「東宇和郡」との合併を志向し、最終的に東宇和4町（宇和町、明浜町、野村町、城川町）プラス三瓶町の合併で人口5万人には満たないものの、合併特例で「西予市」が誕生した。

リアス式海岸に面した三瓶町は、磯釣りのメッカ、県内外から太公望たちが、お目当ての獲物を目指して集まってくるフィッシングの町である。

船釣りはもちろん三瓶湾内にはポイントがたくさんあり、初心者からマニアまで腕前にかかわらず、誰でも気軽に楽しめるのも、ここならではの知られています。

国道378号を海岸沿いに、八幡浜方面へ向かうと旧二木生村の垣生、二及、周木の集落の漁港もなかなかの釣りポイント、この二及に今回紹介の灯台があります。「三瓶二及碁石消波堤灯台」です。

三瓶には、釣り名人の「三好 明」さんがおいでです。

遊漁船船長としても船釣りのお客さんに喜ばれ、活躍されています。

愛媛新聞の「へんろ路」の欄に釣りの記事をたびたび投稿されていることは、皆さんもご存じのとおりです。

【三瓶町周辺図】



【三瓶港内及び付近】



○三瓶二及碁石消波堤灯台要項

所在地 愛媛県西予市三瓶町（二及碁石消波堤外端）

塗色・構造 白色、塔形

灯 質 連成不動単閃緑光 毎4秒に1閃光

光達距離 5.0海里（約9km）

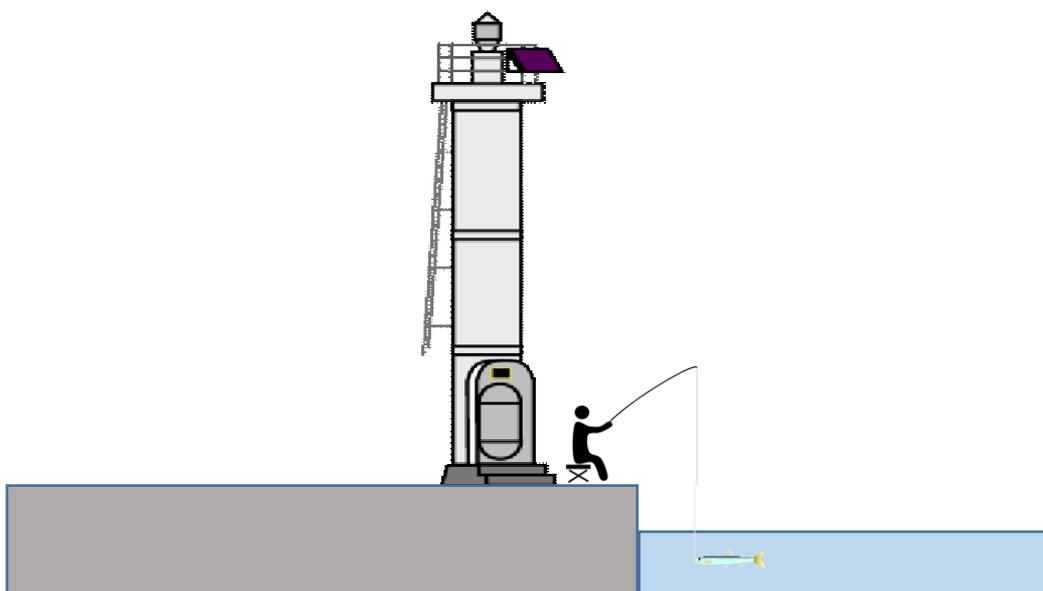
高 さ 地上から構造物の頂部まで 5.7m

平均水面上から灯火まで 8.3m

地上から灯火まで 5.58m

点灯年月日 平成8年3月14日

★「大八車」No.232（令和3年5月10日発行）掲載分



○三瓶二及碁石消波堤灯台及び周辺



三瓶二及碁石消波堤灯台



